

平成 10年 9 月 29 日

リンカ提出リスト

No.	バージョン	内 容	備 考
1	V6.0 (3/27)	(1) リンカが無限ループで終了しない問題を対策。 (2) インターナルエラーとなる問題を対策。	
2	V6.0 (4/6)	3k バイト以上の初期化配列でリンクエラー発生するバグを対策	
3	V6.0 (4/10)	テンポラリファイルを削除しない問題を対策	
4	V6.0 (4/15)	PC 版高速化	
5	V6.0 (5/20)	PC 版高速化と SGI 版高速化	
6	V6.0A	-fsysmbol コマンド不具合対策 ライブラリデバッグ情報変更	PC版のみリリース

V6.0(98.4.15版)からVer6.0(98.4.24版)への変更内容 (1998-04-24)

・ デバッガ上でのenumの表示不正を対策

現象:

デバッガ (Codescape) 上で、ポップアップ、Watchウィンドウとも
エンディアンが反転している。

対策:

-little endian指定時のenumデバッグ情報の誤りを修正しました。

< LNK V6.0A使用時の注意事項 >

LNK('980520)、LBR('980410)版からの変更点

(1)PC版の管理情報ファイル(.ctr、.lct、.rct)の出力内容をUNIX版に統一して出力するように変更しました。これにより、UNIXとPCとのデバッグ情報付きロードモジュールの互換が可能になりました。

ただし、前Ver/Revで作成したデバッグ情報付きリロケータブルロードモジュール(LNK出力)およびデバッグ情報付きライブラリファイル(LBR出力)を使用した場合、以下の現象になることがあります。

LNK : 310 MEMORY OVERFLOW

LBR : 308 MEMORY OVERFLOW

この現象が出た場合には、LNK V6.0A、LBR V2.0Aによるリロケータブルロードモジュール、ライブラリファイルの再構築を行ってください。